

中耕・培土のタイミング、良し悪しが生育のカギ!

◆生育状況

生育状況についてですが、今年は早い地区で5月19日より播種作業が始まり、播種後も好天の日が多く、順調でしたが、6月に入ってから降雨が続いており停滞水が心配されます。

今現在、早い圃場では出芽しておりますが、播種作業が6月5日現在で約43%の進捗率となっております。天候の不順で、作業が進んでいない状況になっておりますが、圃場管理を怠らないようにしてください。

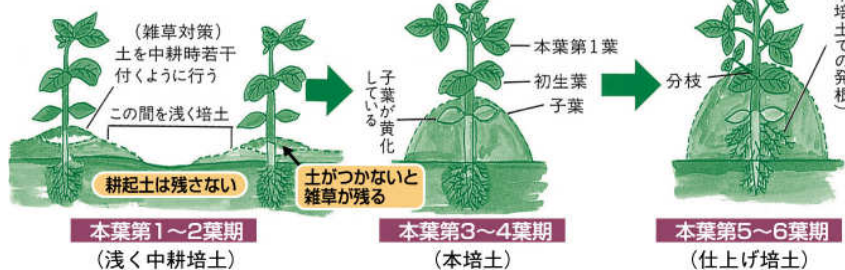
◆中耕・培土

《目的と効果》

- ・排水の効率化
- ・酸素供給
- ・雑草抑制
- ・倒伏防止
- ・根粒増加(根域確保)

	時期	ポイント
1回目	1～2葉期	子葉がかくれる程度の軽い中耕
2回目	3～4 〃	初生葉がかくれ、株元までの小培土
3回目	5～6 〃	根域確保、倒伏防止のための仕上げ培土

◎培土後の溝は明渠や排水溝へ確実につなげる



◆雑草対策

中耕・培土作業とあわせて除草剤を適期に散布し、雑草対策を行ってください。雑草がかなり大きくなってから除草剤を散布しても、なかなか効果が現れませんので早期の対策が必要です。

《茎葉処理剤(イネ科雑草発生の場合)》… 播種後20～25日

(10a当り)

薬剤名	使用基準	摘要
ナブ乳剤	150～200ml/水100～150ℓ	ノビエ3～5葉期(枯殺に約7～10日)
ホーネスト乳剤	75～100ml/水100ℓ	〃 9～10葉期(〃 約7～10日)
ポルトフロアブル	200～300ml/水100ℓ	〃 3～10葉期(〃 約1週間)

《茎葉処理剤(広葉雑草発生の場合)》

(10a当り)

薬剤名	使用基準	摘要
大豆バサグラン液剤	100～150ml/水100ℓ	大豆2葉～開花前 (イネ科雑草には効果ありません)
バスタ液剤※畦間処理	300～500ml/水100～150ℓ	飛散防止カバー等を使用する

◆排水対策(長雨のとき)

長雨や集中豪雨により、畦間に雨水がたまったままにしておくと、湿害を起し、その後の生育不良・雑草の繁茂に結びつきますので、ただちに排水を行ってください。

除草剤を散布するときは周辺作物へ飛散しないように十分注意してください！！